

平成 15 年度 中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会
第 2 回人工海浜専門部会

< 第 1 回人工海浜専門部会における指摘事項とその対応 >

指摘事項	対 応
<p>1.現況整理・把握について</p> <p>1)戦前の植生やオカヤドカリについては、年輩の人からの聞き取り調査が必要である。また、聞き取り調査の結果を絵にできるとよい。</p>	<p>現在、沖縄県で泡瀬の原風景についてヒアリング調査を実施中（参考資料：参照）であり、その結果を踏まえ資料に反映させる。</p>
<p>2.基本理念(キャッチフレーズ)について</p> <p>1)キャッチフレーズは重要であると思われる。</p> <p>2)夏は、風が東と西から吹いている。東側の海域が荒れているとき、西側の海域が利用できる。広範囲に捉えた全天候型のビーチが出来るのではないか。そのようなこともキャッチフレーズになるのではないか。</p>	<p>地元から「早く欲しいな美ら島^{ちゅらしま}ビーチ」といったキャッチフレーズが出ていること、及び左記の指摘事項を考慮し、「<u>元気、いきいき美ら島^{ちゅらしま}ビーチ</u>」とした。</p>

< 第 2 回環境保全・創造検討委員会における指摘事項とその対応 >

指摘事項	対 応
<p>1.県内人工海浜事例について</p> <p>1)沖縄県における人工海浜において、環境面で成功している事例、環境の悪化が見られた事例を収集してほしい。</p>	<p>県内の人工海浜事例における環境面への影響の有無について、可能な範囲で情報を収集・整理し、人工海浜計画において参考とする。</p>